

第8回地震火山子どもサマースクール「箱根ひみつたんけんクラブ」

Secrets of Hakone : The 8th Schoolchildren's Summer Course of Seismology and Volcanology

地震火山子どもサマースクール実行委員会 中川和之 [1]; # 佐藤 明子 [2]

Kazuyuki Nakagawa Working group for Schoolchildren's summer course of seismology and volcanology[1]; # Akiko Sato[2]

[1] -; [2] 平塚市立山城中学校

[1] -; [2] Yamashiro Juior Hight School

<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/kodomoss/>

2007年8月4日、5日の2日間、神奈川県箱根町をフィールドとして小学校5年生から高校3年生までを対象としたサマースクールを開催した。実施にあたっては、神奈川県温泉地学研究所の萬年一剛氏を実行委員長とし、第8回地震火山子どもサマースクール実行委員会を発足した。今回は子どもたちが、日本を代表する観光地、箱根の魅力を開き出し、火山の活動を、火山学会や地震学会の第一線の研究者とともに、ゲーム形式を交えた野外観察で箱根をつくり出した大地の営みを探検し、身近な材料を使った実験で火山や地震のしくみを実感し、火山や地震、観光と自然災害についての理解を深めることを目的とした。2日目には、子どもたちが発見したことを専門家の解説とともに発表する公開フォーラムを行った。2日間を通して解くクイズ(課題)として以下の3問を提示した。

1. 箱根の過去・未来は?
2. 箱根のすごいところ?
3. これから箱根とどう付き合えばいい?

子どもたちは、この3問のクイズに2日間を通して取り組み、公開フォーラムで発表した。

日程は以下の通りで行った。

1日目、JR小田原駅西口に集合し大観山展望台にむけて出発。バスの中では、講師紹介とチーム内の自己紹介、オリエンテーリング、3つのクイズの提示を行った。大観山に到着し観察するも霧のため視界はなかったが、萬年講師により箱根カルデラの解説を受けた。荒天のため早々にバスに乗り込み、車窓から観察できるはずだった富士山の解説を小山講師(静岡大)より聞いた。観察ポイントを見落とし通過してしまうほどの濃霧だったため、野外観察は中止し仙石原中学校へ向かった。仙石原中学校では萬年講師による、観察予定だった溶岩地形のお話し。次に小山講師による、伊豆半島の成因や火山のお話し。そして、武村講師(鹿島建設)による、地震のお話しを聞いた。チームごとに屋外のさわやかな空気を吸いながらお弁当を食べた後は、林講師(秋田大)による火山が噴火するしくみの解説とサイダーを使った実験。高橋講師(日本大学)による箱根の地形についてのお話しを聞いた。また、笠間講師(神奈川県生命の星地球科学館)の指導により、廃油と砂を使っての火山爆発実験を行った。実験終了後、バスで「ロッジ富士見苑」へと向かい、入浴・食事を済ませたのち、萬年講師による箱根カルデラのお話しを聞いた。初日を締めくくったのは、「火山・地震学者と語ろう」という今回のサマースクールで初めて試みたプログラムであった。日本沈没に刺激を受け地球物理を志した火山学者の話や、台風大好き少年が地震学者になった話しを聞いたあと、スタッフとして関わっていた講師以外の研究者も加わりチームごとに分かれて語り合った。スタッフ、子供たち、双方とも刺激し合い楽しいひとときが持てた。今後に生かしたいプログラムである。

2日目、朝食をとった後バスに乗り、ロープウェイ早雲山駅に向かった。ここからチームごとに大涌谷の観察をポイントラリー形式で行った。主な観察ポイントには講師が立っており子どもたちは、チームごとに解説を受けた。中でも温泉供給株式会社の方による、温泉供給の現場の解説や大涌谷名物の黒たまごの作り方の解説は黒たまごのおまけつきで好評であった。また、湧水のpHを図るなどの簡単な実験も取り入れた。チームごとにロープウェイに再び乗り姥子駅に到着した後は、船見塚(流れ山)の観察を行った。観察を終えバスに乗車、車中では箱根登山鉄道の方のお話しや、ロープウェイの方のお話しを聞いた。子どもたちは、火山地域固有のメンテナンスの難しさなどを知り驚いていた。公開フォーラムの会場、神奈川県生命の星地球博物館に到着後は、チームごとに昼食、発表準備を行った。公開フォーラムでは、OHPを用いて2日間で発見した、3つの箱根に関するクイズの発表をチームごとに行った。最後に、修了式でモグラ博士認定証を授与した。

今回の参加者の中には、リピーター(昨年開催した第7回地震火山子どもサマースクール湘南平塚プレートサイド物語の参加者)も多く、課題追求の中心的な役割を果たした。2年連続で神奈川県で開催したことにより、地震学や火山学への興味を確かなものとし、第2、第3の清水コーディネーター(日本女子大:第3回のサマースクールの卒業生)を目指す参加者もいた。また、2008年に開催する第9回目は、京都において開催する予定である。